

生活創造空間

～「生活創造空間にし」では 音楽が流れます～

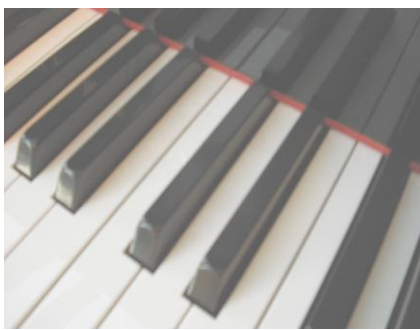
エヌ・クラップ 鈴木 和人

にし

NISHI

～アンラシネを目指します～

第4号 2010年9月10日発行



ランチコンサート

「生活創造空間にし」では、昨年10月より月に5.6回程度、お昼にランチコンサートを行っています。地域の方々をはじめ様々な方達が様々な音楽を演奏してくれています。

クラシックやポップス、ジャズ、etc... 見ている人も歌ったり、演奏したり参加もします。近い距離で生の演奏が聴ける機会があるってとってもいいですね。音は耳だけでなく体に振動としても伝わります。気迫ある音...やさしい音...体全体で感じています。「生活創造空間にし」では今後もすばらしく、そして気軽に音楽が楽しめる時間を作っていきます。音楽が欲しくなったらぜひいらしてください!!

夜のコンサート

「生活創造空間にし」では、夜のコンサートも不定期で開催しています。第1回は5月14日(金)に行われました。出演はDai dai (橙) さんです。都内や横浜を中心に活動しているお二人は縁あってランチコ

ンサートにも参加して頂いております。当日はジャズやポップス、オリジナル曲も含めランチコンサートとは違うDaidai さんでした。Daidai さんの音楽は1つ1つの音がとっても温かいんですよ。。またぜひ夜にもやって頂きたいです!

この夜のコンサートは「ステーション邂逅」と呼ばれています。「邂逅」とは「思いがけなく出あうこと。偶然の出あい。めぐりあい。「旧友と一する」 大辞泉より」という意味です。みなさんそれぞれの邂逅がありました、これからもたくさんあるでしょう!!

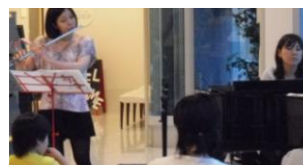
ステーション邂逅 Vol.2

9月24日(金) 18:00~20:00 2回目のステーション邂逅が行われます。4面へつづく!

ステーション邂逅に出てくださった方の情報はこちら...

フルート 小林 豊美さん <http://toyoflute.blog36.fc2.com/>

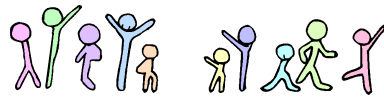
ピアノ 島末 幸子さん <http://profile.ameba.jp/shimasuesachiko/>



フルート 小林 豊美さん ピアノ 島末 幸子さん

5月14日 Dai dai (橙) さんのステーション邂逅 Vol.1

あらためて 障害を学ぶ 第2回 精神障害を知る



第2回目の“生活創造空間にし”での研修は、「精神障害を知る」と題して、日頃より親しくお付き合いをさせて頂いている”生活支援センター西“の桜庭所長にコーディネートをお願いし、まずは桜庭さんから精神障害についてのお話。次に、統合失調症の息子さんをもつご夫婦のお話。そして最後に鬱を患いながらお仕事をされているご本人のお話を伺いました。

桜庭さんからは、統計を引用しながら精神障害は特別なものではなく誰にでも起こり得るものであり、精神障害についての知識不足が偏見を生みだしていること。ご家族からは、社会に望む事として、24時間対応のメンタルレスキュー、働く場、薬の改善の必要性のお話があり、鬱の方からはゆっくりと焦らずに休養出来る環境が必要とのご自身の体験を聞かせて頂きました。

精神障害と言っても様々で適切な診断と服薬の必要性、それを支える家族および周囲の協力の必要性、当事者から学ぶ事の大切さを、改めて実感出来た研修でもありました。また、今回の研修では地域の一般の方が参加してくださいました。(*_*) これからも関係者のみならず、いろいろな方が気軽に足を運べるような研修になればと思います。次回は10月から11月頃に難病の方のお話を伺う予定です。

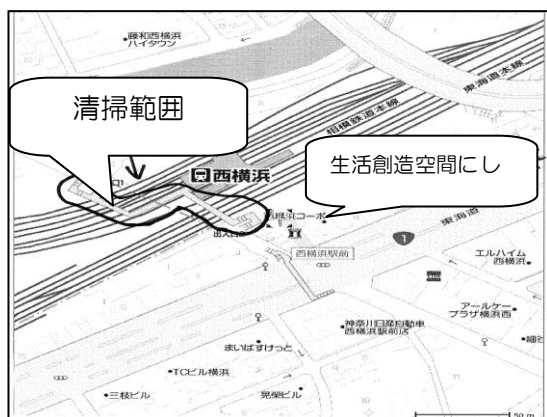
ガッツ・ビーと西 相談支援担当 渡部久実子

生活創造空間にしで、「ハマロードサポーター」を始めました！！

ハマロードサポーターとは、地域の身近な道路を対象に地域と行政が協働して身近な道路の美化や清掃等を行っていきこうという制度です。身近な道路の里親となって地域のみちづくり・まちづくりに参加します。

今回、生活創造空間にしでは最寄りの駅である西横浜駅の歩道橋を8月より週1回程度、清掃しています。清掃することにより、みちもきれいになりますし、その姿を見て通行人の方々に「ゴミを捨てない意識を持っていただく」こともこのハマロードサポーターの大きな役割の一つとなっています。

(清掃場所)



(清掃風景)





生活創造空間 にしの 3 階に製菓製パン室があります。ご見学の方等がいらっしやると「いい香りがする！」とみなさんおっしゃいます。お昼前に 3 階に行くのはお腹の虫を刺激するので覚悟が必要です。気を緩めるとキュルルルル〜とお腹の虫が鳴ってしまいますので、朝ごはんを食べ損ねた日は要注意です。

さて、そんないい香りの中で毎日作業が出来て羨ましいと思っらっしゃる方も多いかと思いますが、実はエヌ・クラブの中で午前中最も時間に追われるのが製菓製パン作業のみなさんで、午前中は戦場(やや大げさでしょうか?!)です。そして時々‘早番’があり、他の作業室の方よりも 30 分早く作業を始める日もあります。

昨年の 7 月にシャララカフェとともに活動をスタートして 1 年半。シャララカフェのショップにはもちろん、市庁舎、西区役所、生活支援センター西、藤棚ケアプラザ、戸部ケアプラザ、保育園、老人ホーム等での販売と地域のみなさん、関係機関のご理解、ご協力を得て少しずつ販売先が増えてきました。また、エヌ・クラブだけでは販売手が足りず、ガッツ・ビーと西のみなさんにも販売を委託して力を貸して頂いています。エヌ・クラブのパンは多くの方の力で出来上がっています。みなさんありがとうございます！

稼働当初は丸くないあんぱん、クッキー生地がややずれたメロンパンもありましたが、この 1 年半の間日々進化し、材料も変えながら、種類を増やし、お客様にも多くのご意見を頂きながら、みなさんに喜んで頂けるよう頑張ってきました。今後のエヌ・クラブとしては今以上に「おいしい！」と言われるパンを作り、販売先を確保し、売上を伸ばす！という大きな目標があります。その目標を達成すべくこれからも進化を続けます。

最後に冒頭のカバの絵はエヌ・クラブのパン屋(カバのパン屋)のロゴマークとイラストです。実はロゴの入った販売車を持っていますが、まだ動いていません(>_<) 車の運転が出来るボランティアさん募集中です!! 販売車に限らず、興味のある方はエヌ・クラブまでお問い合わせ下さい。



わいわい飾

西区内の施設、作業所の製品を西区役所地下 1 階で販売しています。
エヌ・クラブのパンは毎週月曜日、木曜日の 11:40 頃から 1 時間程(売り切れごめん!)販売しています。木曜日はガッツのみなさんが販売しています(0) /



ステーション邂逅 Vol.2

9月24日(金) 18:00~20:00 2回目のステーション邂逅が行われます。

題して

「ステーション邂逅 Vol.2 Guitar・PianoDuo LIVE」

ギター 粟澤 博幸さん、ピアノ 嶋津 健一さんをお迎えして本格的な大人のジャズをお楽しみ頂こうと思います。それでは、粟澤さんと嶋津さんのご紹介をします。

Jazz Guitar 粟澤 博幸

粟澤 博幸さんのご紹介 (あわざわ・ひろゆき)

帰国直後の渡辺貞夫氏にジャズ理論を、潮先郁男氏にジャズ・ギターの基礎を学び、中牟礼貞則氏にも影響を受ける。多様な編成のバンドに参加すると同時に様々な楽器とのデュオ・フォーマットを経験。現在はデュオ、トリオ、カルテットで活動をしている。最近ではジム・ホールらに学んだことを基に、若い世代への独自のレッスン指導も展開

Jazz Piano 嶋津 健一

嶋津 健一さん(しまず・けんいち)のご紹介

85年 渡米、マンハッタン音楽院ジャズ科修士課程入学。同時にニューヨーク郊外のクラブで演奏活動を開始。'87年 マリアン・マクパートランド、ハロルド・ダンコ両氏に各1年師事した後、修士課程卒業。最近では他ジャンルのアーティストとのコラボレーションに興味を覚え、ポエトリー・リーディング、ダンス、モダン・アート絵画、尺八、書、謡、演劇などとインプロヴィゼーションを行って新境地を開拓。

第2回目はどのような邂逅があるのか楽しみです。様々な邂逅を第3回、4回へとつなげていきたいと思えます。

チケットは500円、(ソフトドリンク付き)です。お求めは「生活創造空間にし」事務所まで。

ホームページのご案内

ピアノ 嶋津 健一さん <http://www.rovingspirits.co.jp/shimazu/>

「ステーション邂逅 Vol.2 Guitar・PianoDuo LIVE」の詳細は <http://www.souzoukuukannishi.org/> までご覧ください。

腹黒日記～黒々なるままに～

世の中の釈然としないものについて触れてみます。

・満席のフードコート、もうすぐ食べ終わりそうな人の側に行き、「次いいですか?」「ありがとうございます。」でもこれってたまたま先に食べていただけの見知らぬどなたかですよ。なんか釈然としない。

・職場にかかってきた電話で、目当ての人は不在だった。「また、かけ直しますが、電話あったことだけお伝えください。」って言われたけど、またかけて頂けるならそれでよくないですか? そう伝えられた側もこちらからかけた方がいいのか、待ってた方がいいのか悩みますし。なんか釈然としない。

・小さい子を連れてたご婦人、狭い路地などでこちらは自転車、後ろから抜かそうと接近すると、「自転車来た、危ないからこっち。」などと言って子どもを誘導する。どちらかと言うと危ないのは子どもの方で、自転車の僕は何ら危なくない。なんか釈然としない。

・人のことを腹黒と言う人。でも、腹黒くない人なんていますかね? 自己認識している分だけ可愛げがあると思う。そんな悪態をつきながらも、この僕に腹黒のレッテルを貼ってこのコーナーを継続させてくれている皆さんに感謝します。(腹ぐろーる)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)